

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-286336

(43)Date of publication of application : 16.10.2001

(51)Int.Cl.

A45D 40/00

A45D 40/04

(21)Application number : 2000-108182

(71)Applicant : TAKEUCHI KOGYO KK

(22)Date of filing : 10.04.2000

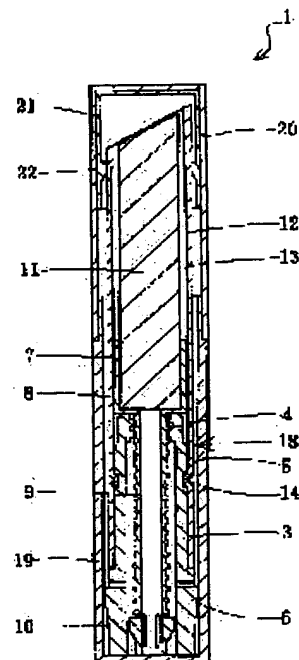
(72)Inventor : OKI SHOZO
HIRAKAWA MASASHI

(54) CASE FOR LIPSTICK OR THE LIKE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a case for a lipstick or the like whose metallic cap and inner cap of synthetic resin can be divided into parts of different materials by easy operations for discarding or reusing the parts.

SOLUTION: A cartridge body which is composed of an inner cylinder member 3 the lower part of which is inserted into and stopped by a skirt member and near the lower part of which stoppers 6 are formed, an outer cylinder member 12 which can rotate around the upper periphery of the inner cylinder member 3 but is engaged with the inner cylinder member 3 in such a way that it can not be pulled out, a pan member 7 which is provided in the outer cylinder member 12 in such a way that it can move up and down and holds cosmetic materials such as lipstick or the like housed in the outer cylinder member 12 and an elevating mechanism 8 which can move up and down the pan member 7 by rotating the inner cylinder member 3 and the outer cylinder member 12.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-286336

(P2001-286336A)

(43) 公開日 平成13年10月16日 (2001. 10. 16)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テームコード* (参考)

A 4 5 D 40/00

A 4 5 D 40/00

X

40/04

40/04

Y

A

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-108182(P2000-108182)

(22) 出願日 平成12年4月10日 (2000. 4. 10)

(71) 出願人 000210573

竹内工業株式会社

東京都墨田区八広 2-59-2

(72) 発明者 大木 将三

東京都墨田区八広 2丁目59番2号 竹内工業株式会社内

(72) 発明者 平川 昌志

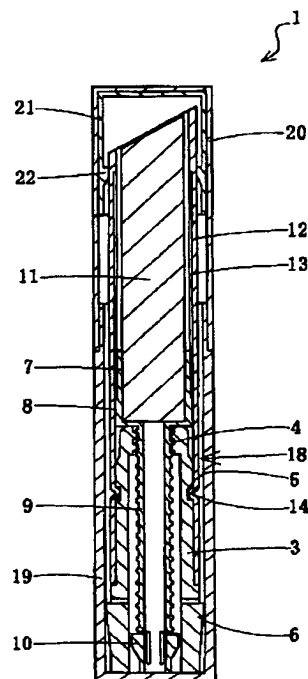
東京都墨田区八広 2丁目59番2号 竹内工業株式会社内

(54) 【発明の名称】 口紅等の収納容器

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 金属材製のキャップと合成樹脂材製の内キャップとを容易な作業によって材質別の部品に分別してから廃棄、又は部品を再利用することができる口紅等の収納容器を提供する。

【解決手段】 ハカマ部材内に下方部が挿入係止され下方部寄りに外方向へ突出する係止片6が形成された内筒部材3、この内筒部材の上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合された外筒部材12、この外筒部材内に上下移動可能に取り付けられ外筒部材内に収納された口紅等の化粧料を支持する皿部材7、内筒部材と外筒部材とを回動させることにより皿部材を上下移動させることのできる上下移動機構18より構成されたカートリッジ体と、このカートリッジ体の下方外周を覆い内筒部材に係止するハカマ部材と、外筒部材の上方外周を覆うキャップ20と、このキャップの内面に係止され内面にハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方側から差し込む。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハカマ部材内に下方部が挿入係止され下方部寄りに外方向へ突出する係止片が形成された内筒部材、この内筒部材の上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合される外筒部材、この外筒部材内に上下移動可能に取り付けられ前記外筒部材内に収納された口紅等の化粧料を支持する皿部材、前記内筒部材と前記外筒部材とを回動させることにより前記皿部材を上下移動させることのできる上下移動機構より構成されたカートリッジ体と、このカートリッジ体の下方外周を覆い前記内筒部材に係止するハカマ部材と、前記外筒部材の上方外周を覆うキャップと、このキャップの内面に係止され内面に前記ハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方側から差し込むことで内筒部材の係止片と係合されなおかつ前記外筒部材の上方外周と着脱可能に嵌合させる係止部を設けた内キャップとからなることを特徴とする口紅等の収納容器。

【請求項2】 ハカマ部材内に下方部が挿入係止され下方部寄りに外方向へ突出する係止片が形成された内筒部材、この内筒部材の上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合された外筒部材、この外筒部材内に上下移動可能に取り付けられ前記外筒部材内に収納された口紅等の化粧料を支持する皿部材、前記内筒部材と前記外筒部材とを回動させることにより前記皿部材を上下移動させることのできる上下移動機構より構成されたカートリッジ体と、このカートリッジ体の下方外周を覆い前記内筒部材に係止するハカマ部材と、前記外筒部材の上方外周を覆うキャップと、このキャップの内面に係止され内面に前記ハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方側から差し込むことで内筒部材の係止片と係合される係止部と、前記外筒部材の上方外周と着脱可能に嵌合させる嵌合片を設けた内キャップとからなることを特徴とする口紅等の収納容器。

【請求項3】 ハカマ部材内に下方部が挿入係止され下方部寄り外周に係止片が形成された内筒部材、この内筒部材の上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合された外筒部材、この外筒部材内に上下移動可能に取り付けられ前記外筒部材内に収納された口紅等の化粧料を支持する皿部材、前記内筒部材と前記外筒部材とを回動させることにより前記皿部材を上下移動させることのできる上下移動機構より構成されたカートリッジ体と、このカートリッジ体の下方外周を覆い前記内筒部材に係止するハカマ部材と、前記外筒部材の上方外周を覆うキャップと、このキャップの内面に係止され内面に前記ハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方側から差し込むことで内筒部材の係止片と係合されなおかつ前記外筒部材の上方外周と着脱可能に嵌合させる係止部を設けた内キャップとからなることを特徴とする口紅等の収納容器。

【請求項4】 ハカマ部材内に下方部が挿入係止され軸

心方向の切り割り溝が形成され下方部寄り外周に係止片が形成された筒状の内筒部材、この内筒部材の切り割り溝の外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に覆い内部に螺旋溝が形成された外筒部材、前記内筒部材内に上下移動可能に形成され内筒部材内に収納された口紅等の化粧料を支持する皿部材、この皿部材に形成された前記内筒部材の切り割り溝および前記外筒部材の螺旋溝と係合する係合ピン、これらにより構成されたカートリッジ体とこのカートリッジ体の下方外周を覆い前記内筒部材に係止するハカマ部材と、前記外筒部材の上方外周を覆うキャップと、このキャップの内面に係止され内面に前記ハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方側から差し込むことで内筒部材の係止片と係合されなおかつ前記外筒部材の上方外周と着脱可能に嵌合させる係止部を設けた内キャップとからなることを特徴とする口紅等の収納容器。

【請求項5】 ハカマ部材内に下方部が挿入係止され下方部寄りに外方向へ突出する係止片が形成された内筒部材、この内筒部材の上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合された外筒部材、この外筒部材内に上下移動可能に取り付けられ前記外筒部材内に収納された口紅等の化粧料を支持する皿部材、前記内筒部材と前記外筒部材とを回動させることにより前記皿部材を上下移動させることのできる上下移動機構より構成されたカートリッジ体と、このカートリッジ体の下方外周を覆い前記内筒部材に係止するハカマ部材と、前記外筒部材の上方外周を覆うキャップと、このキャップの内面に係止され内面円周に前記ハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方側から差し込むことで内筒部材の係止片と係合されなおかつ前記外筒部材の上方外周と着脱可能でしかも密閉状態に嵌合させる係止部をリング状に設けた内キャップとからなることを特徴とする口紅等の収納容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は口紅、リップクリーム、スティックアイシャドー、スティックファンデーション等の化粧品を収納する口紅等の収納容器に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の口紅等の収納容器は内筒部材と、この内筒部材の上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に覆う外筒部材と、前記内筒部材と外筒部材を回動させることによって外筒部材内に収納された口紅等の棒状化粧料を外筒部材の上端より出脱可能とする上下移動機構より構成されるカートリッジ体と、さらに前記内筒部材の外筒部材に覆われていない部位に係止し、前記カートリッジ体の下方部側面を覆うハカマ部材と、前記外筒部材のハカマ部材に覆われていない部位の側面外周を覆うキャップと、このキャップ内面に抜脱不能に固定さ

れ前記外筒部材の上方外周と着脱可能に嵌合する内キャップとからなる構造が使用されていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】このように構成された従来の口紅等の収納容器では金属材製のキャップと合成樹脂材製の内キャップが抜脱不能に組み付けられてしまうため口紅等の化粧料の使用後における収納容器を廃棄する際、金属材と合成樹脂材とに分別して廃棄又は部品を再利用することができないという欠点があった。

【0004】本発明は以上のような従来の欠点に鑑み、使用時には従来と同様に使用することができると共に、不良品や廃棄するようになった場合金属材製のキャップと合成樹脂材製の内キャップとを容易な作業によって材質別の部品に分別してから廃棄、又は部品を再利用することができる口紅等の収納容器を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明はハカマ部材内に下方部が挿入係止され下方部寄りに外方向へ突出する係止片が形成された内筒部材、この内筒部材の上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合された外筒部材、この外筒部材内に上下移動可能に取り付けられ前記外筒部材内に収納された口紅を支持する皿部材、前記内筒部材と前記外筒部材とを回動させることにより前記皿部材を上下移動させることのできる上下移動機構より構成されたカートリッジ体と、このカートリッジ体の下方外周を覆い前記内筒部材に係止するハカマ部材と、前記外筒部材の上方外周を覆うキャップと、このキャップの内面に係止される内キャップを使用し、この内キャップの内面に前記ハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方側から差し込むことで内筒部材の係止片と係合させキャップと内キャップとの分別を可能とする係止部を設けるとい

【0006】

【発明の実施の形態】内キャップの内面に設けられた係止部はキャップと内キャップとを分別する際にハカマ部材より取り外されたカートリッジ体の内筒部材の下方部側からの差込による内筒部材の係止片と係合させるためのものである。

【0007】

【実施例】以下、図面に示す実施例により本発明を詳細に説明する。図1ないし図6に示す発明の第1の実施例において、3はパイプ状に形成された合成樹脂材製の内筒部材で、この内筒部材3の上方内部に螺合穴4が形成されている。

【0008】12は前記内筒部材3の上部を覆う外筒部材で、この外筒部材12はアルミニウム材等の金属材で形成され、内筒部材3の上部外周に回動可能ではあるが抜け出し不能に係止されている。

【0009】7は合成樹脂材製の皿部材でこの皿部材7は口紅等の化粧料11を収納保持し、皿部材7の側面外周に形成された前記外筒部材12の内面に形成された軸心方向の切り割り溝13と係合する係合ピン8を形成し前記外筒部材12内に上下移動可能に取り付けられ、さらにこの皿部材7の下部には前記内筒部材3の螺合穴4と螺合する軸棒9が垂下されている。

【0010】さらにこの軸棒9の下部には内筒部材3より抜脱することを防止するストッパー10が形成されている。

【0011】6は弁動性をもった係止片で、前記内筒部材3の下方部寄りに外方向へ突出しハカマ部材19内に内筒部材3に係止片6の弁動性により回動不能および抜脱不能に挿入係止させる。

【0012】5は内筒部材3の外筒部材12の覆われる部位に形成された周溝で、たとえばこの周溝5と対応する部位の外筒部材12を外側よりロール歯15によって巻き締めによる抜け止め加工により形成されたロール片14もしくはポンチ針17によって打ち込みによる抜け止め加工により形成されたポンチ片16による外筒部材12の下方部に係止することによって内筒部材3と外筒部材12を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合し、前記外筒部材12内に上下移動可能に取り付けられ外筒部材12内に収納された口紅等の化粧料11を支持する皿部材7、前記内筒部材3と前記外筒部材12とを回動させることにより前記皿部材7を上下移動させることのできる上下移動機構18によってカートリッジ体2を構成している。

【0013】19はハカマ部材でこのハカマ部材19内に前記カートリッジ体2の内筒部材3が回動不能および抜脱不能に係止され、カートリッジ体2の下方外周を覆い容器の外観を形成する。

【0014】20は前記カートリッジ体2のハカマ部材19に覆われていない上方外周を覆うキャップである。

【0015】21は内キャップで前記キャップ20の内面に圧入あるいは接着等で抜脱不能に係止され、前記カートリッジ体2の上方外周を覆いなおかつ着脱可能に係合させる係止部22が内面に形成されている。

【0016】このように構成された口紅等の収納容器1は、ハカマ部材19内に内筒部材3が挿入係止され、通常使用時においてカートリッジ体2がハカマ部材19より空回りおよび抜け出ることではない。

【0017】さらにカートリッジ体2を外す場合には、ハカマ部材19に内筒部材3に係止した係止強度よりも強い力でカートリッジ体2をハカマ部材19より引っ張るとカートリッジ体2がハカマ部材19より抜き取ることができる。

【0018】さらにキャップ20より内キャップ21を外す場合には、ハカマ部材19より抜き取られたカートリッジ体2の内筒部材3の下方側から内筒部材3の弁動

性をもった係止片6が内キャップ21の係止部22に届く位置又は通り過ぎる位置まで差し込むことで内キャップ21の係止部22を内筒部材3の係止片6が乗り越えさせ内キャップ21の係止部22と内筒部材3の係止片6とを係合させた後、キャップ20に内キャップ21を係止した係止強度よりも強い力でカートリッジ体2をキャップ20より引っ張ると内キャップ21がキャップ20より抜き取ることができる。

【0019】

【発明の異なる実施例】次に本発明の異なる実施例につき説明する。なお、これらの説明にあたって前記発明の第1の実施例と同一構成部分には同一符号を付して重複する説明を省略する。

【0020】図7ないし図9に示す発明の第2の実施例において、前記発明の第1の実施例と主に異なる点は、キャップ20の内面に係止され内面にハカマ部材19より取り外されたカートリッジ体2の内筒部材3の下方側から差し込むことで内筒部材3の係止片6と係合される係止部22とカートリッジ体2の外筒部材12の上方外周と着脱可能に嵌合させる嵌合片25を設けたものを内

キャップ21Aとした点で、このように構成された口紅等の収納容器1Aとしても良い。

【0021】図10ないし図12に示す発明の第3の実施例において、前記発明の第1の実施例と主に異なる点は、下方部より外周に係止片6が形成された内筒部材3Bとし、この内筒部材3Bの上方外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に係合させた外筒部材12、この外筒部材12内に上下移動可能に取り付けられ前記外筒部材12内に収納された口紅等の化粧料11を支持する皿部材7、前記内筒部材3Bと外筒部材12とを回動させる

ことにより皿部材7を上下移動させることのできる上下移動機構18より構成されたカートリッジ体2Bとし、このカートリッジ体2Bの内筒部材3Bの下方側から差し込むことで内筒部材3Bの係止片6と係合されなおかつ外筒部材3Bの上方外周と着脱可能に嵌合させる弁動性をもった係止部22を設けた内キャップ21Bを使用した点で、このように構成された口紅等の収納容器1Bとしても良い。

【0022】図13ないし図15に示す発明の第4の実施例において、前記発明の第1の実施例と主に異なる点は、ハカマ部材19内に下方部が挿入係止された軸心方向の切り割り溝13が形成され下方部寄り外周に係止部22が形成された筒状の内筒部材3C、この内筒部材3Cの切り割り溝13の外周を回動可能ではあるが抜け出し不能に覆い内部に螺旋溝23が形成された外筒部材12C、前記内筒部材3C内に上下移動可能に取り付けられ内筒部材3Cの切り割り溝13および前記外筒部材12Cの螺旋溝23と係合する係合ピン24を設け前記内筒部材3C内に収納された口紅等の化粧料11を支持する皿部材7C、前記内筒部材3Cと外筒部材12Cとを

回動させることにより皿部材7Cを上下移動させることのできる上下移動機構18より構成されたカートリッジ体2Cとし、このカートリッジ体2Cの下方外周を覆い前記内筒部材3Cを係止するハカマ部材19Cと、前記外筒部材12Cの上方外周を覆うキャップ20Cとこのキャップ20Cの内面に係止され内面に前記ハカマ部材19Cより取り外されたカートリッジ体2Cの内筒部材3Cの下方側から差し込むことで内筒部材3Cの係止片6と係合されなおかつ前記外筒部材12Cの上方外周と着脱可能に嵌合させる弁動性をもった係止部22を設けた内キャップ21Cを使用した点で、このように構成された口紅等の収納容器1Cとしても良い。

【0023】図16ないし図18に示す発明の第5の実施例において、前記発明の第1の実施例と主に異なる点は、キャップ20の内面に係止され内面にハカマ部材19より取り外されたカートリッジ体2の内筒部材3の下方側から差し込むことで内筒部材3の係止片6と係合されなおかつカートリッジ体2の外筒部材12の上方外周と着脱可能に嵌合させ又皿部材7に支持される口紅等の化粧料11に含まれる揮発成分の蒸発を抑える効果を得ることのできる係止部22Dをリング上に設けた内キャップ21Dを使用した点で、このように構成された口紅等の収納容器1Dとしても良い。

【0024】図19ないし図21に示す発明の第6の実施例において、前記発明の第1の実施例と主に異なる点は、キャップ20の内面に係止され天面を開口し内面上方にハカマ部材19より取り外されたカートリッジ体2の内筒部材3の下方側から差し込むことで内筒部材3の係止片6と係合されなおかつカートリッジ体2の外筒部材12の上方外周と着脱可能に嵌合させ又皿部材7に支持される口紅等の化粧料11に含まれる揮発成分の蒸発を抑える効果を得ることのできる係止部22Eをリング上に設けた内キャップ20Eを使用した点で、このように構成された口紅等の収納容器1Eとしても良い。

【0025】なお、前記本発明の各実施の形態に使用される上下移動機構18は前記の説明に限らず、内筒部材3、3B、3Cと外筒部材12、12Cを回動させることによって皿部材7、7Cを上下移動させることのできるものであれば何でも良い。

【0026】

【発明の効果】本発明は以上説明したように構成されているので、以下に記載されるような効果を奏する。

【0027】(1) 使用時には従来と同様に使用することができると共に、不良品が出た時や収納容器を廃棄するようになった場合、金属材料製のキャップと合成樹脂材製の内キャップとを容易な作業によって材質別の部品に分別することができ、不良等による全部品を廃棄せざるを得ないと言ったことが無く部品の再利用、又は部品を分別廃棄することができる。

【0028】(2) 構造が簡単であり、従来の収納容器

であっても容易に改造して採用することができ、それによって組み立て方法も従来と変わらず構成するためのコストが高くなってしまうと言ったことがない。

【図面の簡単な説明】

【図1】発明の第1の実施例の断面図である。(実施例1)

【図2】発明の第1の実施例の外筒部材の巻き締めによる抜け止め加工をする状態の説明図である。(実施例1)

【図3】発明の第1の実施例の外筒部材の打ち込みによる抜け止め加工をする状態の説明図である。(実施例1)

【図4】発明第1の実施例の主要部品の斜視図である。(実施例1)

【図5】発明第1の実施例の内キャップにカートリッジ体を差し込んだ状態の説明図である。(実施例1)

【図6】発明の第1の実施例の内キャップを抜き取る時の説明図である。(実施例1)

【図7】発明の第2の実施例の断面図である。(実施例2)

【図8】発明第2の実施例の主要部品の斜視図である。(実施例2)

【図9】発明の第2の実施例の内キャップにカートリッジ体を差し込んだ状態の説明図である。(実施例2)

【図10】発明の第3の実施例の断面図である。(実施例3)

【図11】発明第3の実施例の主要部品の斜視図である。(実施例3)

【図12】発明の第3の実施例の内キャップにカートリッジ体を差し込んだ状態の説明図である。(実施例3)

【図13】発明の第4の実施例の断面図である。(実施例4)

【図14】発明第4の実施例の主要部品の斜視図である。(実施例4)

【図15】発明の第4の実施例の内キャップにカートリッジ体を差し込んだ状態の説明図である。(実施例4)

【図16】発明の第5の実施例の断面図である。(実施例5)

【図17】発明第5の実施例の主要部品の斜視図である。(実施例5)

【図18】発明の第5の実施例の内キャップにカートリッジ体を差し込んだ状態の説明図である。(実施例5)

【図19】発明の第6の実施例の断面図である。(実施例6)

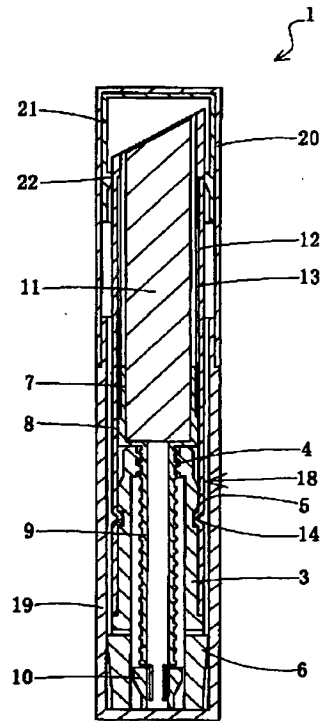
【図20】発明第6の実施例の主要部品の斜視図である。(実施例6)

【図21】発明の第6の実施例の内キャップにカートリッジ体を差し込んだ状態の説明図である。(実施例6)

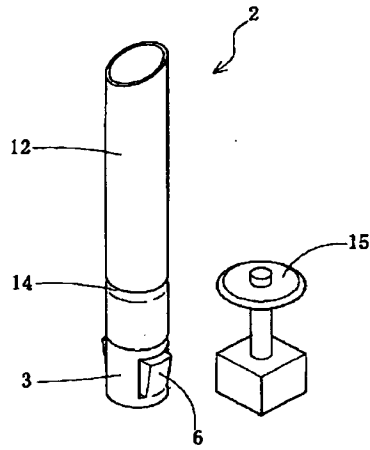
【符号の説明】

- 1、1 A、1 B、1 C、1 D、1 E 口紅等の収納容器
- 2、2 B、2 C カートリッジ体
- 3、3 B、3 C 内筒部材
- 4 螺合穴
- 5 周溝
- 6 係止片
- 7、7 C 皿部材
- 8 係合ピン
- 9 軸棒
- 10 ストップパー
- 11 口紅等の化粧料
- 12、12 C 外筒部材
- 13 切り割り溝
- 14 ロール片
- 15 ロール歯
- 16 ポンチ片
- 17 ポンチ針
- 18 上下移動機構
- 19、19 C ハカマ部材
- 20、20 C キャップ
- 21、21 A、21 B、21 C、21 D 内キャップ
- 22 係止部
- 23 螺旋溝
- 24 係合ピン
- 25 嵌合片

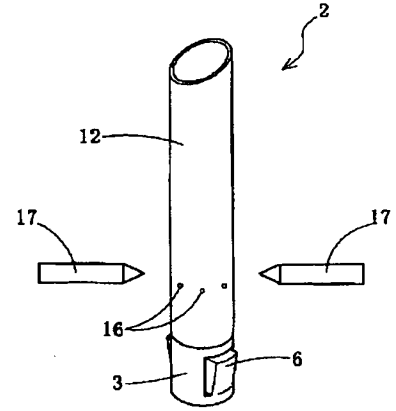
【図1】



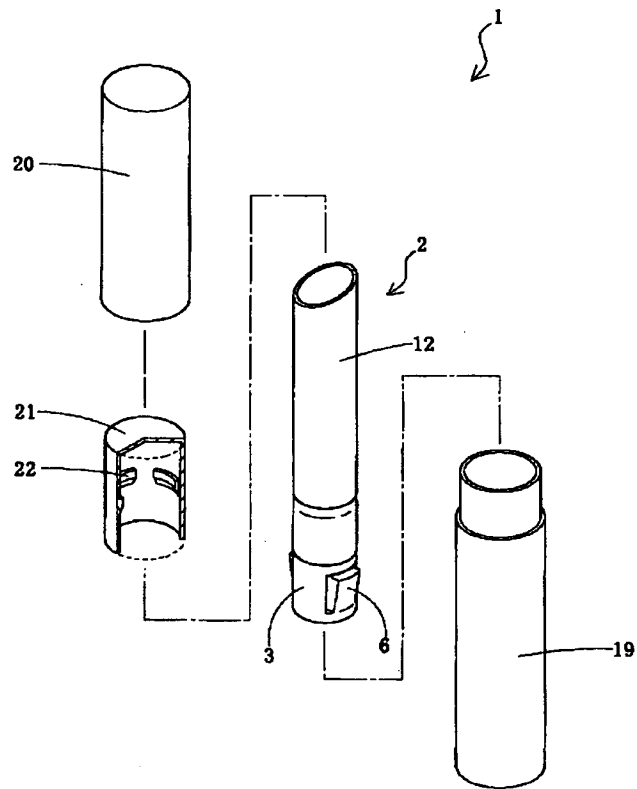
【図2】



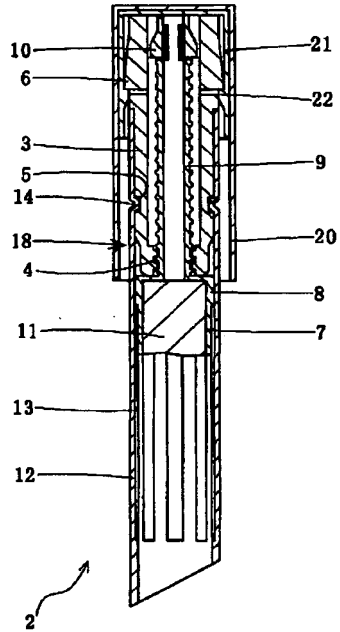
【図3】



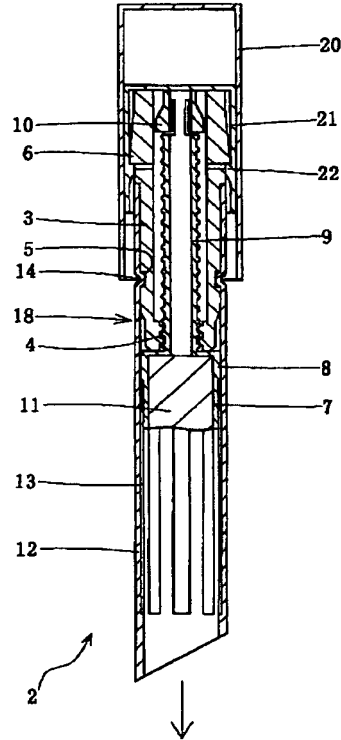
【図4】



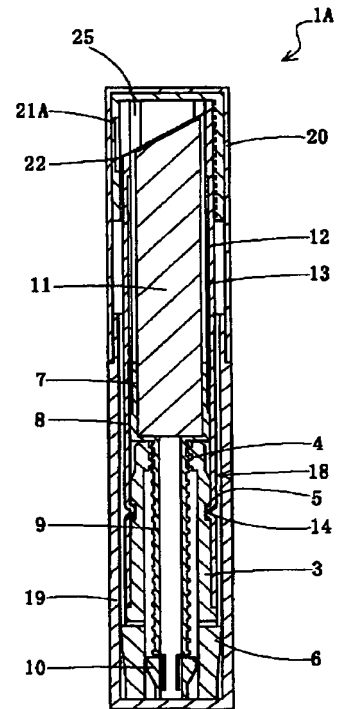
【図5】



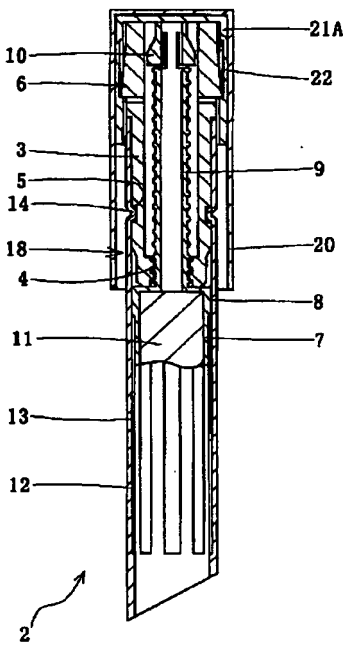
【図6】



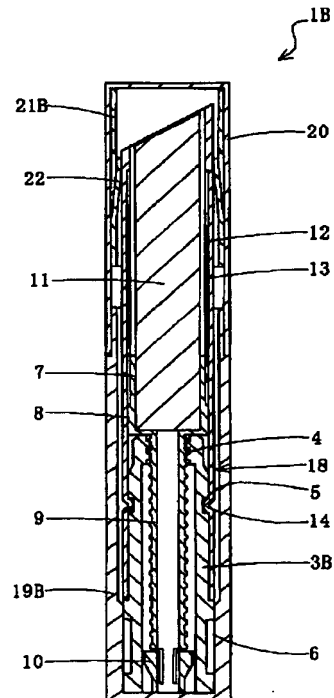
【図7】



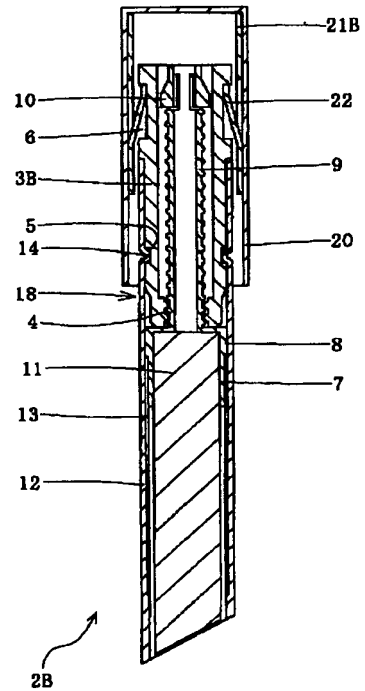
【図9】



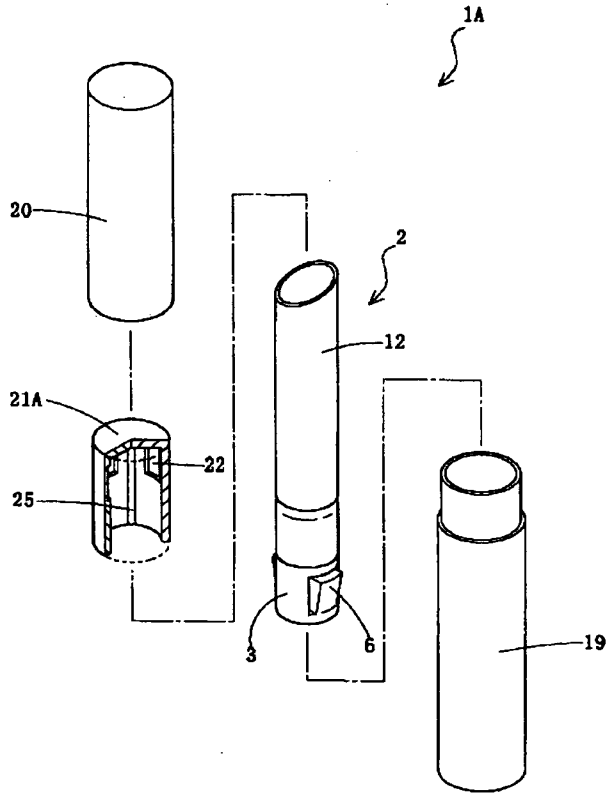
【図10】



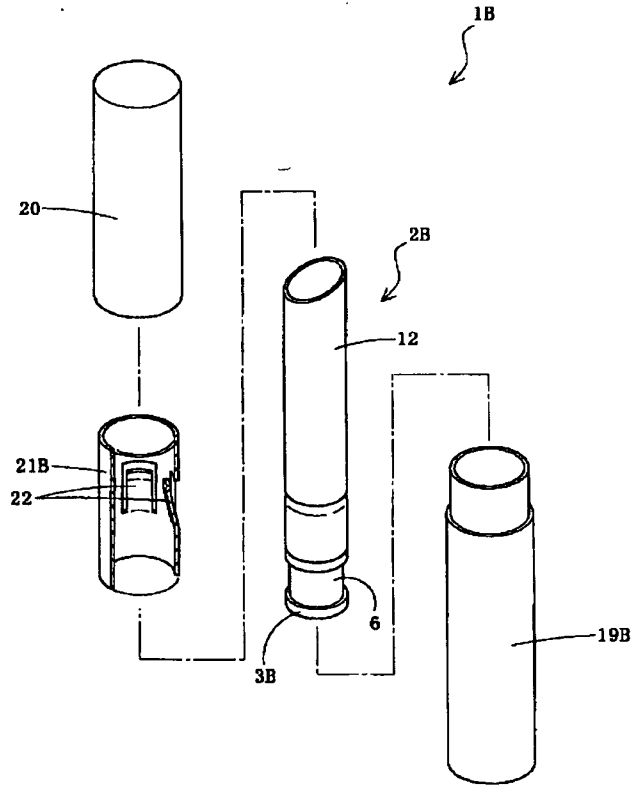
【図12】



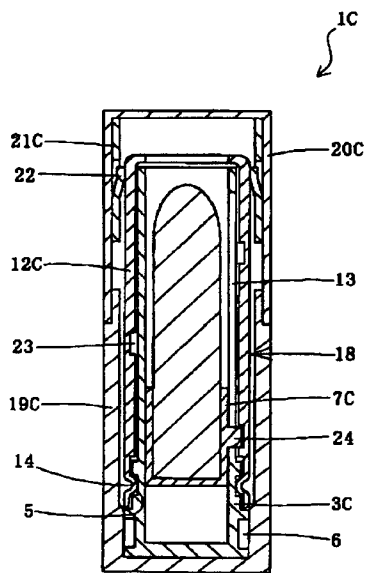
【図8】



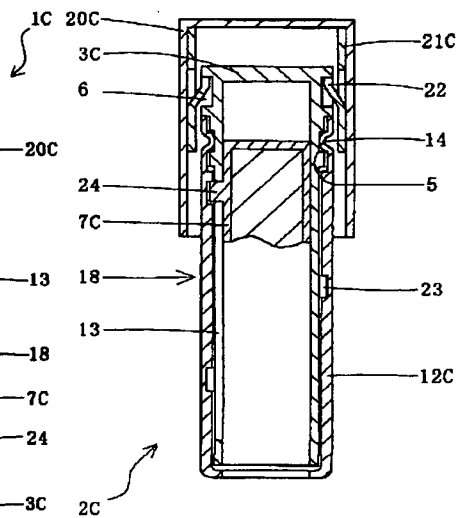
【図11】



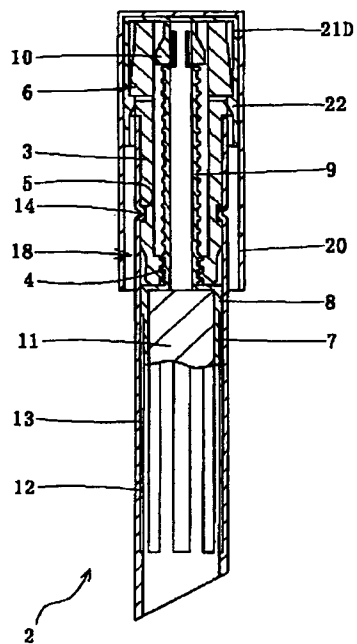
【図13】



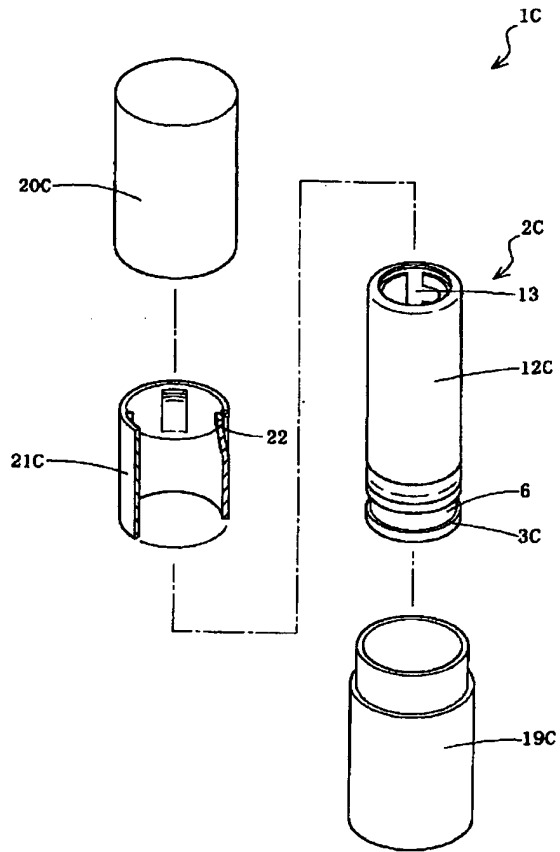
【図15】



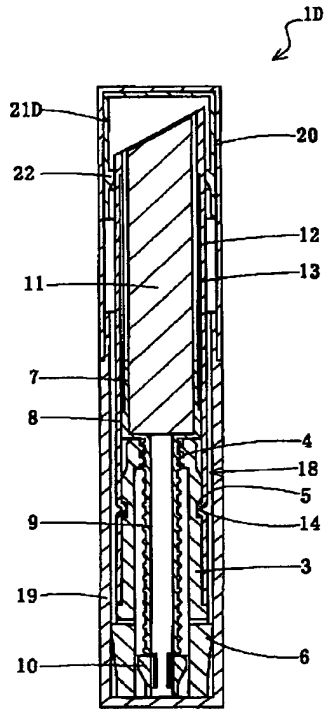
【図18】



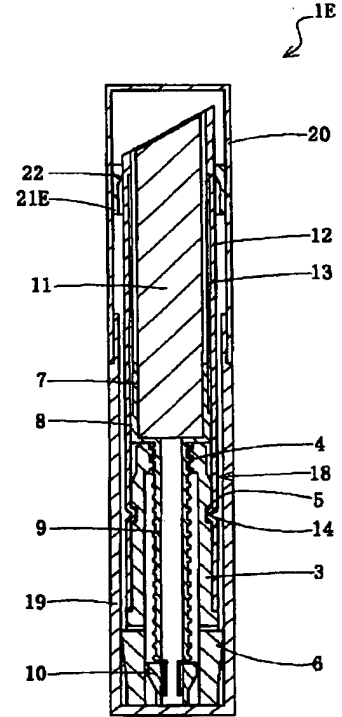
【図14】



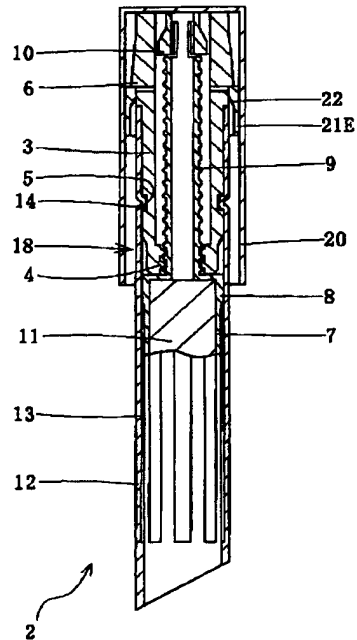
【図16】



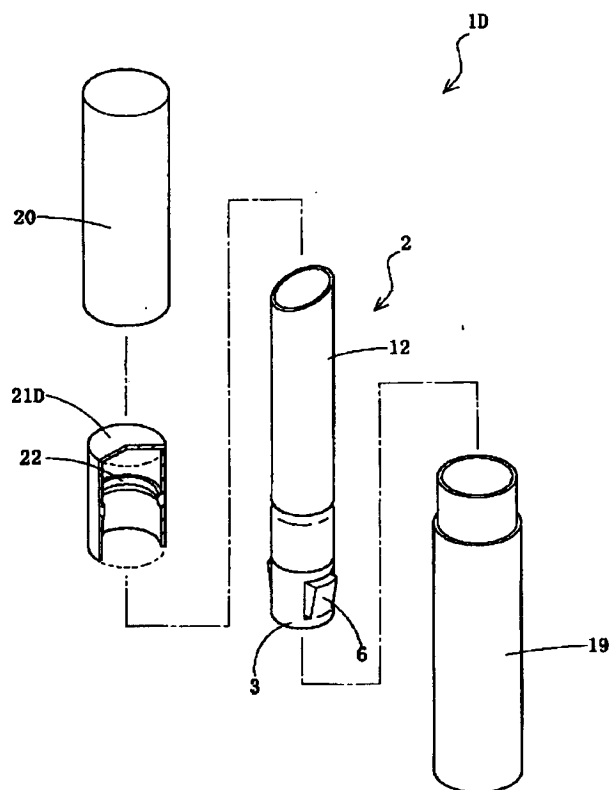
【図19】



【図21】



【図17】



【図20】

